

		任主官	

自昭和十九年七月二十日
至昭和十九年八月三日

陣中日誌

沖繩

假編獨立重砲兵第一

21047

RS 90466
Cincpac-Cincp
B- 23
OKIN

145

八月廿六日

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

晴

高麗軍兵裝

當中路關後至死

尾崎隊

長

尾崎少佐

平山隊

長

平山大尉

奧山隊

福森大尉

連隊

福森大尉

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

五

23-25-28

27-30

六月二十日
嘉手納

一 三三〇中隊長須田中尉
八〇〇中隊長須田中尉
一 八〇〇中隊長須田中尉
隊長 訓示要旨左ノ如シ

一 一連隊員ナル團結
二 重砲兵ノ本領發遣ハ平山隊在リ
三 混成隊百發團ニ於テ相當期待シテ
期待ニ副々様努力カスベシ
四 十分休ヲ大切ニシテ衛奉ムカスベシ
隊員ノ下等一名ハ既傷人員ノ見送りノ下ニ新前隊員
平山命第一號

平山隊員命令
一 平山大樹以下ノ各分隊隊員一八〇名
二 新前隊員一八〇名

編成ヲ別紙ノ通り是ハ

三 隊ノ當分ノ現任在地位ニ潛襲ニ戰半準備及陣地偵察ニ
ニ 構築ヲ完成スルモトス
四 各小隊別命下ニ近兵器ノ檢査及整備ニ教育訓練ニ
五 余ハ嘉手納附近ノ陣地偵察ニ任ス

平山 大尉

九日ヨリ一八〇〇部隊(以テ可合部略稱)ニ於テ駐在
會報アリ隊長出席ス
要旨左ノ如シ

一 最近某隊横穴作業中トシ及兵生糧トナル
作業ニ將長監督ノ下ニ實施スベシ
二 定期航空搭乗ニ關スル件
搭乗者ハ部隊長及幕僚トシテ上
三 新前隊上陸後會報カシテ注意スベシ

一 嘉手納ヨリ那覇ヨリ至ル者ハ那覇ヨリ那覇ヨリ至ル
 五 自動車半支隊此ノ件
 六 各部ヨリノ通達

軍醫部

一 副食ニシテハ骨粉ヲ製スルニシテハ以テ之ヲ骨粉トシテ
 大ニテ莫ノ骨粉ノ骨粉
 憲兵隊

通信

通信未檢閱差支ガ各部隊ニテリ
 軍機保護法違反及ニ明ハルニトアリ注意セラレ度
 九 午前ヨリ高田嶺野ヲシテ命令ニテ傳達セシム
 午前中 新編成ニ具テ環境整理ニ努メテス
 午の隊長ハ所付中尉ヲ伴ヒ親志附近補給偵察行
 各分隊毎ニ器材ノ整備兵隊ヲ遣ハシテス

平日命第一番

平山隊命令

一 隊ハ嘉手納宿營開球第一八〇部隊 給養ヲ受ケ
 諸規定及諸勤務モ同隊内務規定ニ準ジ實施ス

二

陸軍兵長

山田正雄

同 一等兵

馬場初五郎

同 一等兵

可兒史男

尾崎隊ハ編入ノ爲メ二人中出發スヘシ

三

陸軍准尉

高田由之介

同 兵長

奥村一雄

同 上等兵

小島政平

同 一等兵

松野富吉

同 同

丸助二

明子白
 大隊本部事務整理ノ爲メ那覇市ニ出張ヲ命ズ
 依テ復官用自動車ヲ使用スヘシ

二字追加

五分

五到七月

間日直

勤務

命

陸軍少佐

土山 嶋一

左記

月日

七月二十七日

日直士官

日直下士官

日直上等兵

七月二十八日

河村中尉

新井中尉

小川上等兵

七月二十九日

古賀少尉

角田伍長

須崎上等兵

七月三十日

高山中尉

吉爾候伍長

川並上等兵

七月三十一日

河村中尉

藤代中尉

木村上等兵

期

球第(八)四部隊平山隊編成表

昭和十九年七月二十日

幕僚校准士官

下士官

幕僚校代福

中余

中余

中余

103

總員 107

昭和十九年七月二十八日
 球第一八品部隊平山隊編成表

球第一八品部隊平山隊編成表 昭和十九年七月二十八日

隊長 大尉 平山 敏勝		隊小指 少尉 古賀 隆		隊砲戰 砲重小隊長 中尉 河村 辰三		隊殺列長 殺列長 高田 由之介		隊列	
1	3	10	10	10	10	10	10	10	10
103	13	22	16	16	9	16	8	4	

一八〇〇ヨリ全角、魚歌演習ヲ実施ス
二〇〇〇ヨリ白雲作、大田美雄、高田茂男、中野清、高橋
ヨリ轉入ス

平日命第ニ第

平山隊命令

陸軍兵技伍長 石原孝太郎
陸軍 兵長 奥村 一
兵器事務連絡、爲那爾市ニ出張ヲ命ズ

八月二十九日

觀望、小田桐軍曹、指揮ヲ以テ眼鏡、視正ヲ實施ス、
有線、新井軍曹、指揮ヲ以テ回光、砲測、通信ヲ實施
無線、中村伍長、指揮ヲ以テ周波、數、兵、砲ヲ實施ス
戰隊、分隊長、指揮ヲ以テ分隊教練及器材、整備ヲ
實施ス

陸軍一

被列、分隊長、指揮ヲ以テ器械、整、備及可、空、壕、屋
関ヲ實施ス

隊長、河村中尉、指揮ヲ以テ、保、衛、高、地、陣、地、之、檢、査、
終、日、陣、地、偵、察、ヲ、實施ス

夕方ヨリ、射撃、一、回、ヲ、行、ヒ、射、撃、場、ヲ、以、テ、本、日、之、射、撃、
ヲ、全、員、各、器、材、之、檢、査、及、善、用、ヲ、行、ヒ、實施ス

八月三十一日、砲、兵、隊、之、演、習、ヲ、行、ヒ、射、撃、場、未、夕、其、之、
内、務、實、施、及、積、地、之、檢、査、ヲ、實施ス

嘉手納
一、〇、〇、〇、隊、長、八、司、令、官、ヲ、許、三、配、属、中、告、ニ、列、リ、旅、團、之、
圖ヲ承認ス
一、五、〇、〇、中、日、命、ヲ、受、領ス
球、第、一、八、〇、〇、部、隊、命、令
球、第、一、八、〇、〇、部、隊、 陸、軍、大、尉 平、山、勝、次

球第一八八四部隊

陸軍公署

小田桐

同上等兵

小島政平

同一等兵

越前清一

本部附近、地形、陣地偵察等、爲期三十一日ヨリ二泊
三日、予定ヲ以テ同方面ニ出張ヲ命ズル事ナリ、
往復共、各町自動車ニ依ルベシ

一六三、隊長、渡辺恭三、第十五聯隊長、美田大佐、并ニ
連絡ニ列リ、八〇〇歸營ス

八月三十日

隊長、小田桐、以下ヲ俾テ、八〇〇嘉手紙ヲ出張ス

曇

指揮小隊、各屋下ニ官、指揮ヲ以テ、器材、手入整備ヲ實施ス

嘉手紙

各分隊長、指揮ヲ以テ、夜、兵檢、手入ヲ實施ス

夜列、八佐、森、重曹、指揮ヲ以テ、糧藥、檢休、延製、及、各

材、手入整備ヲ實施ス

午後、全員團外檢校ヲ實施ス

稀代軍曹以下十一名、八〇〇ヨリ司令部兵器々、材運搬
援助、爲、那覇市ニ出張、一八三、日、歸營ス、
河村中尉及古賀少尉、且志川村飛地附近ニ於テ
陣地偵察ニ任ズ

八月一日

各分隊、各々、其ノ所管兵器々、材、手入整備ヲ實施ス

曇時々晴

新井軍曹以下四名、八〇〇ヨリ司令部ノ糧秣積込

嘉手紙

援助、爲、那覇市ニ出張、一九三、日、歸隊ス

林學子校

高田准尉以下六名、大隊本部事務連絡及被服受

領、爲、那覇市ニ出張、一九〇、日、歸隊ス
河村中尉及古賀少尉、前日ニ引続キ、且志川村飛地附近
ニ於テ、放列陣地、偵察ニ任ズ

平日命第三號

平日命第三號

平山隊命令

八月一日

一 陸軍准尉 高田由之介
 同 伍長 中村喜尔
 同 兵長 田中貞雄
 同 一等兵 奥村一雄
 同 一等兵 田丸助二
 同 一等兵 大村一夫
 大隊本部へ事務連絡及被服受領、爲本日即日歸隊、予定ヲ以テ那覇市ニ出張ヲ命ズ
 往復ハ官用自動車ニ依ルバシ
 二 陸軍兵友伍長石原孝太郎
 事務連絡、爲明日即日歸隊、予定ヲ以テ那覇市ニ出張ヲ命ズ
 往復ハ官用自動車ニ依ルバシ
 三 自八月一日間左ノ通日直勤務ヲ命ズ
 至八月八日

(省略)

現在員 河村中尉以下一〇三名
 隊長 小田桐軍曹以下三名ヲ伴ヒ桃山喜納原
 附近ニ於ケル地形偵察ヲ實施シタル後本部町渡
 久地ニ在リ

八月二日 各分隊ハ昨日ニ引續キ整備ヲ實施ス
 晴 石原伍長ハ事務連絡、爲八月八日那覇市ニ出張シ
 嘉手納 一七三〇歸隊ス
 角田伍長以下四十一名ハヨリ司令部ノヤメニ上運搬
 援助、爲那覇市ニ出張シ八月三日歸隊ス
 八月八日受領セル神日命第百四十九号球第一八〇部隊
 神日命第百九号
 二 日日命令要旨左ノ如シ
 陸軍上其兵 具上心堅益喜

以下五名
 市ニ出張シ命ス
 三球第一八〇部隊平山隊ハ本日〇八〇下士官
 以下四〇名ヲ差出シ等々二項業務ヲ援助スハ
 現在員河村中尉以下一〇三名
 隊長ハ大嘉嘉陽 桃山附近ニ於テ陣地偵察ヲ行ハタル
 後渡久地ニ在リ 二二〇頃越前一隊ヲ兵發病シ虫様
 突起突ノ疑ニアルヲ以テ名護ニ至ル

八月三日
 隊長ハ名護第一歩兵隊高級軍醫ニ患心者ノ處置ヲ
 依頼スルト共ニ耐蒸トシテ小田桐軍曹ヲ殘置シタル後
 現地戰術修加ノ爲一〇〇一應ニ嘉嘉手納ニ歸来スルヤ
 旅團ヨリ左記ノ如キ要旨命令ヲ受領シ直ニ處置ス

トコロアリ

左記

一重砲小隊ハ渡久地南方高地ニ陣地ヲ占領スルトシテ
 伊江島ヲ掩護シ状況ニ依リ名護灣西方海域ヲ射
 撃シ得ル如ク準備スベシ

二將來独立混成隊十五聯隊ニ配属ノ予定
 三陸海兩路ヲ併用シ本部町渡久地附近ニ前進スベシ

一平作命等ニ號(独混混四四旅作命等ニ號)
 平山隊命令
 八月三日 一三〇リ
 嘉嘉手納

一旅團ハ新兵團ノ到着ニ伴ヒ中頭地區ヲ守備ヲ交代シ國
 頭地區ニ移駐ス

一隊ハ八月五日迄ニ現在地ヲ撤シ本部町渡久地附近ニ進來
 シ取扱ハス兵器材料ヲ集積セントス

二高田准尉ハ成ル可ク速カキ中村伍長以下三十一名ヲ

移駐ニ関スル

旅團要旨

命令

平作命等ニ號

追駐願テ命

令

指彈三第一、次觀通畧戎及彈藥ヲ輸送ニ任ズル中
向宿營地タル名護沖繩縣立第三高等女學校ノ
設營ニ任ズル自働貨車ニ運轉手助手共ニ
屬ス

中村伍長以下ハ輸送終了後中間宿營地ニ於テ各隊
監視及主力ヲ爲メ宿營設備ニ任ズル

三河村中尉ハ一部ヲ以テ四日以後中間宿營地ニ付スル重
材料ノ輸送ニ任ズル

四古賀少尉ハ旅團ノ援助ヲ得テ主力ヲ以テ輕材料ノ
渡久地ニ付スル海上輸送ニ任ズル

八月四日第一便ニハ露營材料(八鍬形天幕其他)五兩
分ノ自炊材料(含糧秣)卸下茲ニ監視要員(下士官
以下約四十名)ヲ併セ輸送スル

五小田桐軍曹ハ渡久地附近ノ設營ニ任ズル

陸軍一

六嘉手納名護ニ在ル人員ノ給養ハ旅團自渡久地

ニ在ル人員ノ給養ハ部隊自炊ニ依ル

七名護及渡久地ニ到着セル人員ノ爾後ノ行動ニ

關シテハ別命ス

八月三日先行シテ渡久地ニ在リ八月四日午後嘉加
手納ニ到ル

隊長 平山大尉

現地戰術ニ

關スル獨立旅

作命等ニ

本日受領セル獨立旅作命等之號獨立混成隊四
旅團命令ノ要旨左ノ如シ

一旅團ハ別紙計畫ニ依ル守備地區ノ現地戰術ヲ

實施ス

二各隊ハ別紙計畫ニ基キ宿營初員ヲ參加セシム

旅團長 鈴木少將

別紙現地戰術指導計畫表

一目的 旅團守備地區ノ研究
 二教育期間 自八月五日ヨリ
 三統裁部

統裁官 鈴木少将
 副助官 内田少佐
 四專習員

美田大佐 宗土大佐 先任将校ニ 中島少佐 平山大尉
 以下二名 以下五名

五教育指導
 (一省 略)

現在員 河村中尉以下四十一名
 隊長ノ命令下達後嘉手納ヲ出發シ小田桐
 軍曹ヲ名護ヨリ招致シテ渡久地ニ在リ駐シ

陸軍

爲ノ連絡及設營ニ任ズ

高田准尉ハ中尉伍長以下二十名ヲ指揮シテ中間宿
 營地タル名護高々ニ對シ觀通器材ヲ陸輸シタル
 後同地ニ在リ

古賀少尉以下十名ヲ揚格準備ノ爲現宿營地ヨリ
 一運搬ニ任ジタル後彼處場ニ露宿營ス
 越前一等兵八等兵二歩兵隊醫務室ニ在リ須田一等
 兵ハ小田桐軍曹ト交代シ附添ニ任ズ

八月四日 晴
 河村中尉ハ戰砲隊ヲ指揮シテ重機料半部陸輸
 ニ任ズ所要時間六五時間タル後中間宿營地ニ
 在リ

音手納ヨリ
 名護ニ在リ
 高田准尉ハ後藤軍曹以下ヲ指揮シテ諸材料陸
 輸ヲ終了シ中間宿營地ニ在リ

古賀少尉以下、海輸ノ爲、揚塔ヲ行クニ三五〇完了
 被止場ニ露營ス
 隊長ハ小田桐軍曹ヲ殘置シ、現地戰術參加ノ爲、嘉加
 手納ニ歸来ス
 指揮班長仁位少佐狀況視察ノ爲、来嘉加
 現在員、河村中尉以下五十八名
 隊長並ニ砲廠衛兵松田上等兵以下五名ハ嘉加手
 納農林總学校ニ在リ、舊中尉
 古賀少尉以下四名ハ嘉加手納被止場ニ在リ
 小田桐軍曹ハ渡又地ニ在リ
 越前須田西一等兵ハ名護等ニ歩兵隊醫務室
 ニ在リ

八月五日
 晴
 名護

河村中尉ハ口々名護ヲ出發シテ嘉加手納ニ到リ重
 枚料殘部ヲ輸送ヲ準備ス
 古賀少尉ハ渡又地被止場ニ在リ、海輸船ノ揚陸並ニ
 邊名地ニ宿營ノ爲、設營ニ任ス
 高田准尉ハ宿營ニ關スル連絡ノ爲、邊名地ニ赴キ
 一八〇歸隊ス
 隊長ハ現地戰術參加中名護ニ宿營ヲ輸送ノ現
 況ヲ知得シ在リ、命令ヲ筆記交付ス
 平作命令等三號
 平山隊命令
 八月五日
 一隊ハ成ル可ク速カニ本部町ニ集結シ宿營配備ヲ完
 了シテ次期ノ行動ニ移行セントス
 二河村中尉ハ引續キ名護ト渡又地間ニ於テ重枚
 料ヲ輸送ニ任ズ

作命等三號
 邊名地ニ集
 結關スル命令

三高田准尉ハ名護中間宿營地ヲ撤シ残餘人員
器械ヲ指彈シ渡久地ニ推進シテ古賀少尉指彈
ヲ受クベシ

古賀少尉ハ前任務ヲ續行スベシ

高田准尉以下ノ渡久地到着ニ伴ヒ之ヲ併セ同
揮シ波止場ヨリ邊名地ニ至ル道路補修及到
着荷物ノ宿營地ニ邊名地ハ輸送ニ任ズベシ
五予ハ現地戰術終了後邊名地ニ至ル

隊長 平山大尉

任位少佐ハ口九〇那西朝ニ歸還サル
現在員 高田准尉以下五十一名

隊長 現地戰術專習員トシテ名護ニ在リ
河村中尉以下十二名重械科輸送準備ノ爲ニ
加手
給ニ在リ

陸軍

古賀少尉以下小田桐軍曹ヲ含ミ四十一名海輸品
卸下シテ渡久地ニ在リ
越前須田兩一等兵ハ依然第一歩兵隊警務室ニ在リ

八月六日
名護
河村中尉ハ一五三〇重械科陸輸ヲ終了ス
古賀少尉ハ中間宿營地ヨリ機通器械及糧秣ヲ陸輸
シテ渡久地ニ到リタル稀代軍曹以下二十二名ヲ併セ指彈

ニ前任務ヲ續行ス

高田准尉ハ残餘人員ヲ指彈シテ中間宿營地ヲ撤收
シテ陸輸準備ヲ實施ス

現在員 河村中尉以下四十一名
隊長ハ前日ニ同シ

古賀少尉以下六十三名前日ニ同シ
越前須田兩一等兵ハ前日ニ同シ

一八〇〇

八月七日

雨

河村中尉ハ戰砲隊一部ヲ指揮シ渡久地也此場材料
 假集積地ニ存ス重材料陸輸ニ任シ一六ノ終了ス
 古賀少尉ハ輕材料ヲ輸送シ別邊高司治尉以下
 ヲ併セ指揮シ渡久地也一運送名地ニ付ス此從以外
 諸品運搬卸ニ集積ニ任ス
 此日降雨アリ路盤脆弱トナリ且補修ヲ完了セカ
 ル爲自動ハ兵車ヲ使用スルヲ得ス尙馬車以テス
 部落民ハ降雨ヲ衝キ極ニ積極的ニ進入路ヲ補修
 ニ協力シテ一ハリ頭之ヲ略ク完成シ路盤ガ堅硬
 ナランカ重材料通過ヲ許シ得ヘキ程度ニ至ル
 隊長現地戰術終了シ一ソリ邊送名地ニ歸來シ
 作業ハ狀況ヲ巡ス
 平作命第四號(獨混一五作命第一八號)
 平山隊命令
 八月六日

準備陣列

命令
 一隊ハ今般獨立混成第十五聯隊ニ配屬ヲ命ゼラレ當分
 ノ間邊送名地ニ宿營シ取敢ヘズ邊送名地ニ野戰陣地
 ヲ占領シタル後桃山南側地區及ニ是高地附近ニ
 堅固ニ陣地ヲ構築セントス
 二古賀少尉ハ八月八日迄ニ隊事務室下聯隊本
 部間ノ有線連絡ヲ完了スベシ
 三宿營間ニ於テ起居ハ別冊内務暫行規定ニ據リ
 實施スベシ
 四指揮小隊及殺列ハ八月十三日一八日迄ニ宿營地附
 近ニ於ケル對空施設交通路ノ補修兵器々枚檢護
 分散渡敵ヲ完了スベシ其細部ニ關シテハ高田連
 尉之ヲ區處スベシ
 五戰砲隊ハ取敢ヘズ伊江島ヲ射擊シ得心如ク八月
 十日一八日迄ニ先カ一門八月十五日一二日迄ニ全火

陸軍

砲陣地進入ヲ完了スベシ
 六小田桐軍曹ハ觀測手ノ一部ヲ指揮シ陣地附近
 七給養ハ部隊自炊ニ依ルモノトシ副食ハ効クヲ現地
 八河村中尉ハ戰砲隊ニ所要ノ指示ヲ與ヘ高田准尉ハ
 九吉賀少尉ハ指揮小隊要員ヲシテ高田准尉ノ區
 十桃山南側地區及ニ〇七高地ニ於ケル陣地ノ構築ニ
 十一現存員 隊長以下 〇〇名
 隊長 平山大尉

陸軍

八月八日 〇七ヨリ本語奉讀式ヲ舉行ス
 晴 〇七ヨリ獨立混成某十五聯隊長ヲ指揮下ニル
 邊名地 新井軍曹ハ通信手ヲ指揮シ六事務室ヲ聯隊
 本部及將校舎間ハ通信網ヲ構成ス
 小田桐軍曹ハ觀測ヲ指揮シテ桃山南側地區ニ於
 ケル測圖作業ヲ實施ス
 殘餘ハ人員ハ高田准尉ヲ指揮シテ前日ノ作業
 ヲ續行ス
 天候良好ニテ自動貨車ヲ使用シ得ルニ至リ荷
 馬車ヲ併用ス
 聯隊ニ對スル未定報告別冊第一ヲ如クニ

一字別紙

隊長八河村中尉及吉賀少尉等率之桃山附近放
列陣地、細部偵察ヲ要員迄ス
現在員 隊長以下一〇一名
川並上等兵以下四名衛兵トシテ渡久地ニ在リ
越前一等兵外一名前日ニ同シ

八月九日

晴

邊名地

一部人員ヲ以テ運搬作業ヲ續行シ一七〇〇定メテ
小田桐軍曹ハ二昨日ハ作業ヲ續行ス
其ノ他ノ人員ハ火砲、車輛、燃料等掩体構築ニ
要員施ス
本部國民勸學校高等科生徒勤勞奉仕ニ来リ
作業ヲ要員施ス
一六〇〇ヨリ聯隊本部ニ於テ軍官聯民合同懇談
會アリ隊長出席又

陸軍

軍官民會

懇談會協
議事項

協議事項要旨左ノ如シ

- 1. 現地自活用資材ニ關スル事項
- 2. 築城資材及勞務者關係
- 3. 運搬車、配當並ニ進急對策
- 4. 内類野呂類燃料類配給對策特ニ任三島ニ對シ

- 4. 兵器修理ニ關シ民間工場利用援助
- 5. 被服修理ニ關シ民間作業力利用援助
- 一婦人會女子青年團ニ對シ衛生法救急法
- 止血法ノ普及及ニ關スル事項

平日命書號

平日命書號

平山隊命令

八月九日

陸軍少尉

古田 隆

同 伍長

中村喜作

一字別紙

一字別紙

同 上等兵
同 一等兵
梅澤秀雄
松野富樹
鈴木章三

現行一八〇部隊、連絡、為期十日即日歸隊、
三定、以テ名護町へ出張ニ命ズ

但シ往復ハ三月自動車ニ依ルベシ
二月九日 閣下通リ日回勤務ニ命ズ
三月五日 略一

現在員 隊長以下一〇五名

越前一等兵外名前日同シ

八月十日 朝禮ノ際隊長左ノ如キ陸軍大臣訓示ヲ傳達ス

晴
邊名地

大東亞戰爭茲ニ二年有八ヶ月皇軍ハ御稜威ノ下
全カヲ奮ニ交戦ノ事ニ從ヒ其威武中外ニ宣揚ス

陸軍一

然リト雖モ戦局今ヤ振古未曾有ノ難關ニ臨ミ皇
國正ニ興廢ノ関頭ニ在リ

其ノ秋ニ方リ元遠ニ新任ヲ辱ウシテ軍政變理ノ大任ヲ
拝ス洵ニ恐懼感激ニ堪ヘス

本官不敏ト雖モ前大臣ノ偉蹟ヲ継キ寔ニ匪躬ノ節ヲ
致シ誓テ聖旨ニ副セ奉ラントラ期ス

全軍將兵擧テツラ挺身難ニ赴キ宜戦ノ大詔ニ示シ給ハル
戰爭目的定遂ニ徹底シ凡有困難ト障碍トテ克服シテ

戰勝獲得ニ邁進シ以テ皇運ヲ扶翼シ奉ラントラ
期セサルヘカラス

此ノ途ハ固ヨリ愈々 聖諭ヲ奉體シ前大臣屢次ノ訓
示ヲ實踐スルニ在リト雖モ現下重大ノ戦局ニ鑑ミ特ニ就

任ニ方リ本官ノ要望ヲ明示スルトコロアラントス
一心勝ノ信念ヲ堅持シ愈々闘魂ヲ振起スヘシ

一軍一致團結勿論陸海軍員一體益々其協助
 同ヲ緊密ナラシムヘシ
 一軍紀ヲ振作シ秘密ヲ嚴守シ特ニ軍内部ノ人的物的
 状態ヲ不用之息ニ漏洩シ自ラ不規律ヲ犯スヲ誠ニ
 要ス
 一處事最ニ神速ニシテ機ヲ逸レサルヲ要ス
 一反撃力ヲ造成就中航空戦力等精銳突撃兵備
 兵器擴充整備ニ與テテカヲ傾注スルト共ニ最
 終勝利獲得ノ爲ニ準備ニ遺憾ナカラムヘシ
 一内外ニ於ケル敵側ノ謀略宣傳ヲ嚴ニ打破潰滅ス
 ルヲ要ス
 右訓示ス
 昭和十九年七月二十三日
 陸軍大臣 杉山 元

陸軍一

軍事正


八月十日
 晴
 邊名地
 其
 古賀少尉ハ午前中一部ノ観測手ヲ伴ヒ二〇七高地ニ於テ
 観測所細部偵察ヲ實施シ午後司令部ニ出張シ
 一九日歸隊ス
 其他ハ前日ノ作業ヲ續行ス
 古賀少尉ハ観測手ヲ伴ヒ観測所細部偵察ヲ實施ス
 其他ハ前日ノ作業ヲ續行シ西砲車位置ハ掩体構築
 ヲ完了スリ予定ナル牽引車掩体位置ハ右砲車位置
 困難ナル爲ニ積土断面ヲ採用シ他ハ位置ヲ変更ス
 一九三ヨリト士官以上會食ス此ノ際今後ノ作業ニ關ス
 ル隊長ノ意圖ヲ傳ヘラル
 現在員 隊長以下一〇五名
 越前一等兵外一名前日ノ同シ
 八月十一日
 曇
 戦砲隊ハ河村中尉ハ指揮ヲ以テ放射列布置ヲ實施シ
 一六日陣地進入ヲ終了ス

邊名地

其他、依然作業ヲ續行ス

隊長ハ山崎上等兵ヨリ伴々任江島ニ赴ク

大隊本部、提出セル状況報告別冊第二、如シ

現在員河村中尉以下一〇三名

隊長ハ山崎上等兵ヨリ伴々任江島ニ赴ク

江島砲第一六五〇部隊ニ在リ

越前一等兵外一名前日ニ同シ

八月十三日

戰砲隊ハ河村中尉ノ指揮ヨリ射撃準備及彈藥置

邊名地

場ノ設備ヲ實施ス

觀測手ハ古賀少尉ノ指揮ヨリ前日ニ引續キ觀測所

附近ノ測圖ヲ實施ス

通信手及段列要員ハ各分隊長ノ指揮ヨリ燃料

器材彈藥置場檢修ヲ構成シ宿營地ニ於ケル工事

ヲ概成ス

陸軍一

獨混五作命

獨混一五作命第二一號ヲ受領シ要旨左如シ

第二一號

本部地區隊命令

八月十三日

一聯隊、假編獨立重砲兵第百大隊平山隊、衛生

業務ヲ擔任ス

二聯隊本部附寺邑衛生部員習士官八平一隊、診

療ニ任ズ

本部地區隊長

美田大佐

現在員河村中尉以下一〇三名

隊長ハ山崎上等兵ヨリ伴々任江島ニ赴ク

連絡中ノ處風波、爲便船ヲ依然伊江島ニ在リ

越前一等兵外一名前日ニ同シ

八月十四日

觀測手ハ古賀少尉ノ指揮ヨリ諸元決定ヲ實施ス

邊名地

ヲ實施ス

其他ハ河村中尉ノ指揮ヨリ工事ノ補備及偽裝

本地方ニ於テハたニ一木一草一鉄ハ移植スルモ枯朽スルコトハキヨクテ容易ニ復舊ノ目的ヲ達成シ得ヘシ

隊長ハ一三〇伊豆島ヨリ歸隊ス
本日ヨリ作業力増大為人夫コ信徴スルコトス
一〇六名参加ス
現在員隊長以下一〇五名

越前一等兵外一名前日同シ

八月十五日 突發事態ニ備ヘ取敢ヘズ任務ヲ達成シ得ル如ク宿營地附近ニ構築セル陣地ヲ概テ所更小城ニ工事

邊名地 成リ専ラ之ガ補備増日強ニ任ジツ、爾後ノ行動ヲ

假陣地概成ス 準備ス

作業員(傭人夫)コ云フ以下同シ参加一〇名

兵所司出港以來一日トシテ休息ノ違ハク天下ヲ移駐ニ次ガ移駐ヲ以テシ現在地至ルマ直子ニ作業ニ任ジ

陸 軍 一

茲ニ假陣地ノ概成シ見ルニ至リタルモ極メテ志氣旺盛ニシテ著患ナリ引續キ本陣地ノ作業ニ着手シ速クニ戰鬪準備ヲ終リテ敵ヲ待メントノ意氣ニ燃エ満タル鬪志ヲ宣藏シアリ見エザル敵ニ對シ既ニ戰鬪ヲ開始セルノ概アリ
第三歩兵隊ヨリ越前一等兵治癒ノ旨通報アリ
隊長ハ午後准士官以上ニ對シ陣地構築作業ニ關スル腹案ヲ指示スルトコロアリ
現在員隊長以下一〇五名

越前一等兵外一名前日同シ

八月十六日 〇七〇隊長ハ陣地構築ニ關スル命令ヲ下達シ各小隊ヲ以テ準備ヲ怠ルモ施セシム

邊名地 晴 平作命第五號(獨混一五作命第一九號)

平山 隊 命令

陣地構築ニ 一隊ハ主トシテ伊豆島掩護狀況ニ依リ各護灣西ノ海域

八月十六日 〇七〇

關之命令、則塞、目的ヲ以テ左、如ク展開スベク堅固ニ陣地ヲ構築セシトス、

觀測所 二高田、三浦美、四命令、五

補助觀測所 謝之宮、高田、(神陽)命令、六

前進觀測所 田江島、高田、(三浦)命令、七

散列陣地 札山東側地區、(新)橋上命令、八

散列位置 喜納、(神)山、命令、九

之が爲、則十七日より工事ニ着手シ、九月中旬迄ニ、戦闘準備ヲ概成シ、九月下旬迄ニ觀測所及散列陣地ノ射撃手段ニ觀測設備ヲ完成セシトス

二高田准尉ハ新井軍曹以下十名ヲ指揮シ、築城材料蒐集所要ニ應ジ陣地附近へ運搬ニ任ズベシ

自動貨車二(運轉手助手共)ヲ屬ス

三古加戸少尉ハ指揮小隊ヲ以テ觀測所構築ニ任ズベシ

築城材料集積々々新井軍曹以下六名ヲ高田准尉ノ指揮ニ入ルベシ

四河村中尉ハ戰隊隊及散列要員ヲ併セ指揮シ散列陣地ノ構築ニ任ズ九月二十日迄ニ完成シ、進入ヲ完了セシムベシ

築城材料集積々々小野山兵長以下四名ヲ高田准尉ノ指揮ニ入ルベシ

五陣地ノ施設程度其準備及数量附表第一、如ク

六散列位置及補助前進觀測所、工事開始ニ就テハ別命ス

七金井軍曹ハ火工兵ヲ指揮シ各陣地ノ埋込破作等ノ指導ニ任ズベシ

八高田准尉ノ散列ヨリ炊事要員トシテ常時四名ヲ殘置シテ稀代軍曹ハ指揮ヲ受ケラハシ

畫食ハ其ノ都度宿營地ヨリ運取スベシ
 九作業員ノ配當ニ懸シテハ其ノ都度指示ス
 十予ハ放列陣地觀測所ノ順ニ一巡シ爾後適時作業
 狀況ヲ巡視ス
 隊長 平山大尉
 河村中尉ハ戰砲隊分隊長ヲ伴ニ新行橋ニ至リ現
 地ニ就キ作業ニ懸スル腹安ホラ示シ且準備ヲナサシム
 古賀少尉ハ各掛下士官ニ對シ予メ測圖シテ準備セ
 ルトコロニ其キ作業ノ細部ニ懸スル意圖ヲ示シテ準備
 備ヲナサシム
 金井軍曹ハ火工兵ヲ指揮シテ彈丸裝藥素箱ノ
 補修ヲ實施ス
 其ノ他ハ高田准尉ノ指揮ヲ以テ邊名地陣地ニ於テ
 ル作業ノ準備増強偽裝器材ノ兵檢整備等ヲ

一字削除

陣地施設程度強度基準及数量

區分	施設程度	強度基準	施設數量				摘要
			露天	輕掩	中掩	計	
入砲人員 彈藥及掩体	一門一掩体	火砲ハ露天トシ他ハ輕掩蓋ヲ冠ス附圍幕ハ形式	二			二	放
掩人員	戰砲隊全員ヲ收容シ得シム	坑道式或ハ掘用式中掩蓋ヲ冠ス				二	
彈藥	戰砲隊全員ヲ收容シ得シム	掘用式トシ輕掩蓋ヲ冠ス				二	
燃料	戰砲隊全員ヲ收容シ得シム					六	位
糧秣	戰砲隊全員ヲ收容シ得シム					六	置
自動貨車	戰砲隊全員ヲ收容シ得シム					二	
自衛隊	戰砲隊全員ヲ收容シ得シム					二	
子備陣地	戰砲隊全員ヲ收容シ得シム	輕掩蓋ヲ冠ス 西路天トス	四			四	

附表第一

種別	陸軍		海軍		備考
	人員	職務	人員	職務	
司令官	1	陸軍少将	1	海軍少将	
副司令官	1	陸軍中佐	1	海軍中佐	
参謀	2	陸軍中佐	2	海軍中佐	
文书	1	陸軍少佐	1	海軍少佐	
译员	2	陸軍少佐	2	海軍少佐	
通信	1	陸軍少佐	1	海軍少佐	
其他	1	陸軍少佐	1	海軍少佐	

陸軍第一

新設の海軍少将官制

陸軍

海軍

種別	人員	職務
司令官	1	海軍少将
副司令官	1	海軍中佐
参謀	2	海軍中佐
文书	1	海軍少佐
译员	2	海軍少佐
通信	1	海軍少佐
其他	1	海軍少佐

事務連絡係 明十日ヨリ三日ノ道ヲ以テ
 霸市附近ニ出張ヲ命ズ
 陸軍少将 古賀 隆
 同 佐長 中村 喜作
 同 上曹 小島 政平
 同 一等兵 鈴木 章三
 同 野 富吉

平山隊

平山隊 命令

陸軍准尉

高田 由之介

同 一等兵 田丸 助二

同 佐藤 桂吉

同 藤 桂吉

同 藤 桂吉

同 藤 桂吉

同 藤 桂吉

同 藤 桂吉

同 藤 桂吉

事務連絡及現品受領、爲明十七日即日歸隊、
 定、以三名護町ニ出張ヲ命ズ
 但、往復ハ自用自動車ニ依ルベシ
 三右ノ通り日直勤務ヲ命ズ
 (省 略)
 四 陸軍兵長 奥村一雄
 明十七日ヨリ當分、間名護隊第一八〇部隊經理部
 ニ派遣ヲ命ズ
 作業員ハ九十四名参加ス
 現在員ハ九隊長以下一〇五名
 越前一隊兵外一名ハ依然第二歩兵隊醫務室在リ
 隊長ハ小田桐軍曹以下副副所作業要員ヲ直接
 指揮シ作美台ニ於テル作業要員ニ任ジ先ツ
 人員用檢査部坑道掘進ニ着手ス

八月十七日
 晴
 邊名地

河村中尉ハ放列陣地作業要員ヲ指揮シテ新庄橋
 二於テ作業中、土砲火砲檢査ヨリ着業又ハ一
 吉賀少尉、第一隊、第二隊ヨリ糧秣運送、三三〇
 歸隊ス同時ニ込川領田兵一隊兵ヲ歸隊ス、
 一、二、三、本領地區隊戰鬥計畫書ヲ受領、
 第三、四、
 大隊本部ヨリ、渡邊主計少尉事務連絡、爲未
 隊ス
 作業員ハ九十六名参加ス
 現在員、隊長以下一〇三名
 高田准尉以下三名事務連絡、爲眞和志大隊
 本部在リ
 奥村兵長ハ派遣セラレテ名護第一八〇部隊在

八月十日 河村中尉以下放列陣地作業要員八新行橋ニ於
晴

邊名地 ケル作業ニ任ズ
小田畑軍曹以下鐵則所作業要員八作美台ニ

於ケル作業ニ任ズ
筑前成材科八目下ノキヤス集積要員八各作業場

ニ接助ス
古賀少尉ハ稀代軍曹中村伍長ト共ニ渡邊少尉

ト經理業業務ニ關シ打合せヲナス
十五聯隊ニ配屬セラレタリト雖モ經理的ニハ独立シマル

現況上主計將校ト士官ヲ有セタル當隊トシテハ業
務處理上幾多疑問ヲ莫アリ之等ニ關シ指導ヲ仰

ギ爾後、經理業業務遂行ハ円滑ヲ期ス
殆ンド獨立的立場ニ在ル當隊トシテ成規類取一

部スラ有セタルハ事務遂行上支障甚タルモノアリ

陸軍一

平山

八月十九日

晴

邊名地

平山命

高田准尉ヨリ騎銃交換トシテ一日意誌ヲ取リ替ヘテ
作業員九一名参加ス

現在員數明白同シ

起床ヲ三十分繰上テ三八式騎銃ハ返納準備ニ急務ト

平日命第六号

平山隊命令

陸軍技術軍曹 金山延也

同 伍長 中村喜作

同 上等兵 川英善

同 小島政平

同 一等兵 永井武一

同 松野富吉

紅番受領、爲本十九日ヨリ一海二日ノ予定ヲ以テ大

隊本部ニ出張ヲ命ス